

# ロシア国立モスクワ音楽院マスタークラス

Moscow State Conservatory Master Class

## 要 項



**TIAA**

**東京国際芸術協会**

渡航手配業務 株式会社東京国際ツアーズ

## <主旨>

これからもっと音楽を勉強したいという音楽家を対象に、豊かな表現力や可能性を引き出し、国際的に活躍できる音楽家の育成として、その学習機会を提供し、もって音楽文化の発展、向上に寄与することを目的として開催します。

## <実施概要>

今年で17年目となりましたロシア国立モスクワ音楽院マスタークラスが2019年8月に開催されます。このマスタークラスは、モスクワ音楽院教授によるレッスン受講を目的としています。また、希望者にはモスクワ音楽院への留学アドバイスも行っています。自由時間にはモスクワ市内にあるクレムリンや聖ワシリー寺院など、有名観光地を見学していただくこともできます。

## <マスタークラス日程>

**2019年8月6日(火)～8月9日(金)**

## <開催地>

ロシア国立モスクワ音楽院 (ロシア・モスクワ市)

## <受講対象楽器>

ピアノ、声楽、各種管楽器、作曲、合唱指揮、室内楽、伴奏法、音楽学・音楽理論等  
(詳しくはお問い合わせ下さい)

世界的な知名度を持つ、50名を超える教授陣によるレッスンを受講できます。

当マスタークラス過去実績：Elena Rikhter(piano), Pyotr Skusnichenko(vocal),  
Evgeny Petrov(clarinette) ほか多数

## <レッスン曲とレッスンについて>

自由曲2曲またはそれ以上を用意してください。組曲等も可。

モスクワ音楽院教授によるマンツーマンレッスンの時間は、原則1回につき50分です。

期間中に2回のレッスンを受講します。レッスン時間を考慮した選曲をおすすめします。

※原則日本語の通訳がつきます。

※必ずしもロシア物のレパートリーを用意する必要はありません。

<マスタークラス参加費> ※レートは、費用ご請求書発行時(お申し込み受諾後)のレートを適用させていただきます

申込金 130ユーロ (2019年4月12日現在 1ユーロ126.26円換算 16,414円)

受講費 410ユーロ (2019年4月12日現在 1ユーロ126.26円換算 51,767円) ※聴講費用を含みます

※キャンセル時も返金は不可。

※参加者は、マスタークラスのすべてのレッスンを無料で聴講できます。

※声楽・弦楽器・管楽器の参加者に対しては、レッスン時にモスクワ音楽院の公式伴奏者がつきます。その費用として別途140ユーロがかかります(マスタークラス参加費助成対象外となります。ご注意ください)。

## <宿泊地・渡航費用について>

宿泊地 モスクワ市内のホテルを利用します。

渡航費用 396,480円

### 【渡航費用に含まれるもの】

- 1) ホテル宿泊代金 (5泊6日・2人部屋・朝食込み)
- 2) 往復航空券代金
- 3) 現地空港からホテルまでの専用車による移動費
- 4) マスタークラス日程中(8/6～9)の昼食および夕食代金
- 5) マスタークラス日程中(8/6～9)の個人練習室利用代金
- 6) 事務局同行経費
- 7) 海外送金手数料

### 【渡航費用に含まれないもの】

上記以外の費用は渡航費用に含まれません。費用に含まれない主なものは次のとおりです。

- 1) 事務手続き代金 21,600円
- 2) ビザ取得手数料 7,000円
- 3) 航空券手配に伴う諸費用(燃油代金、国内空港使用料等、航空保険料、現地国際空港税) 約40,000円
- 4) マスタークラス申込金および受講費、申込金、伴奏者費用
- 5) レッスン受講時の移動にかかる交通費
- 6) 食事の際の飲み物代金
- 7) マスタークラス日程外の昼食・夕食代金
- 8) 自由行動中にかかる費用

※滞在先ホテルでの一人部屋を希望する場合の追加代金48,600円

※飛行機自己手配を希望の場合は渡航費用から 150,000 円を減額いたします。なお、その場合は基本的に現地滞在ホテルにて集合・解散となります。

※パスポートは帰国日から 6 ヶ月以上の残存有効期間と空白ページ（見開き 2 ページ以上）が必要です。

※ビザ申請のためパスポート原本をおあずかりいたします。

※ビザ用の証明写真(4.5 cm×3.5 cm)を 1 枚同封してください。写真の裏に氏名を明記ください。

※お申込書ご提出後、ビザ申請書類作成のための書類をお渡しますので必要事項をご記入いただき、所定の期日までにパスポート原本とともにご返送ください。ご提出が遅れた場合にはビザ申請が間に合わなくなる可能性がございます。その際は、ビザ緊急申請費用としてロシア大使館に支払う手数料を別途ご負担いただきます。必ず期日までにご提出ください。

※燃油サーチャージ及び現地空港諸税につきましてはレートの変動等に伴い変更となります。

※日本より教授アシスタント（通訳兼務）が同行します。

※ホテルからモスクワ音楽院への往復は、教授アシスタント（通訳兼務）が同行します。このためモスクワでの滞在は、指定した 1 箇所のホテルとさせていただきます。

※レッスンのスケジュールは現地に行ってから決定いたします。日本出発前に詳細なレッスンスケジュールをお伝えすることはできませんので予めご了承ください。

※ロシアビザ取得のため、飛行機自己手配の方には事務局より手配状況の確認をさせていただきます。

※航空会社燃油代金につきましては、燃油の高騰等とともない金額の変更がある場合がございます。

※渡航業務に関しては東京国際芸術協会より下記の旅行会社に委託します。

株式会社東京国際ツアーズ 観光庁長官登録旅行業 1353 号 (社) 日本旅行業協会正会員

〒116-0002 東京都荒川区荒川 3-74-6-301

TEL 03-6806-7820 FAX 03-3806-8556 master@ti-tours.com

※渡航手続き関連で必要な個人情報を(株)東京国際ツアーズと共有いたします。(株)東京国際ツアーズより直接ご連絡を差し上げますので予めご了承ください。

#### <キャンセルについて>

お申し込み後のキャンセルの場合、以下のとおり所定のキャンセル料を申し受けます。

○渡航 30 日前から 3 日前までの取り消し 渡航費用の 20%

○渡航前々日までの取り消し 渡航費用の 50%

○無連絡不参加及び旅行開始後の取り消し 渡航費用の 100%

なお、事務手続き代金 21,600 円ならびにマスタークラス申込金は理由の如何を問わず、お申込後のご返金はいたしかねます。また、レッスン受講確定後のキャンセルの場合、マスタークラス受講費についてもご返金はいたしかねます。

#### <修了証>

マスタークラス終了後に、モスクワ音楽院事務局よりマスタークラス修了証が授与されます。

#### <渡航日程>

2019 年 8 月 5 日（月）出国～8 月 11 日（日）日本着

#### <申込方法>

申込書に必要事項をご記入の上、弊会事務局までお送りください。お申し込み後、申込金として渡航費用の一部(5 万円)をお振込みいただきます。振込先は申込書の受理後にご案内いたします。なお、定員に達しない等の理由により当マスタークラスが実施されない場合には申込金全額をご返金いたします。

#### <申込締切日>

2019 年 6 月 7 日（金）

※ただし、それ以前でも申込者が定員になり次第、締め切ります。

※航空券を自己手配される方は 2019 年 6 月 21 日（金）までお申し込み可能です。

#### <その他>

※このマスタークラスではコンクール・オーディションにおいて成績優秀者(下記対象者)に受講費免除推薦が認められています。

・2018 年 6 月～2019 年 5 月までに弊会主催コンクールにて入賞・入選、新人演奏会オーディションにて合格・准合格された方

・2018 年夏期・2019 年春期・夏期海外音楽大学派遣助成オーディションにて合格・准合格された方

#### <お問合せ・お申込先>

一般社団法人 東京国際芸術協会

〒116-0002 東京都荒川区荒川 3-74-6-301

TEL 03-6806-7108 FAX 03-3806-8555

http://www.tiaa-jp.com E-mail: info@tiaa-jp.com

## モスクワ音楽院マスタークラス担当教授 (過去の実績)

ピアノ:

### Sergey Dorensky セルゲイ・ドレンスキー



S. Bunin, N. Lugansky, D. Matsuev, D. Rudenko, A. Shtarkman, R. Yassa, O. Kern, Mihen An をはじめ、その指導によって数々の国際コンクールにて優秀な成績を残して受賞したピアニストたちを多数輩出している。

### Margarita Fedorova マルガリータ・フョードロヴァ



数々の国際コンクールの審査員を行っている。半世紀以上の時間をかけ、3000 以上のリサイタルを行う。N. Belkov, B. Tonkikh, N. Glovko, San Ban Sil, P. Pozdnyshev, D. Ludkov をはじめ、国際コンクールの受賞者となった 60 人以上の学生の指導を行った。

### Viktor Merzhanov ヴィクトル・メルジャーノフ



V. Bukin, V. Bunin, Y. Dzhevetsky, Yu. Didenko, M. Olenev, Yu. Slesarev など、様々な国際コンクールでの 110 人の受賞者を輩出。

### Irina Plotnikova イリーナ・プロトニコヴァ



シドニーでの国際ピアノコンクールで1位(1977 年)、アメリカでのイーヴォ・ポゴレリチコンクールにて2位(1993 年)、モンテカルロでのピアノマスタークラスにおいて、グランプリ(1995 年)を受賞。

### Olga Zhukova オリガ・ジューコヴァ



125 名を越える教え子の中にはロシア名誉アーティストである I. Gvardina, L. Oganegov がいる。また、国際コンクールの受賞者である A. Braicheva, O. Kim, Nguen Chin Khiong, M. Petrosyan, M. Chentsov, E. Kuchma や、全国ロシアコンクールの勝者である V. Dunin

などの指導も行った。

オルガン:

### Alexei Parshin アレクセイ・パルシン



数々のオルガンフェスティバルにおける音楽監督を務める。世界各国で演奏を行っており、国際コンクールの審査員のメンバーでもある。彼の元教え子は国際コンクールの受賞者となった有名なオルガニストが多く、V. Shevlyakov, A. Karpenko, A. Kuchina, M.

Vysotskaya, Y. Pirozhikhina, Khiroko Inou-ai, E. Tsybko, K. Volostnov, J. Yudenkova, E. Krivitskaya など、多くの人物の指導を行った。

ヴァイオリン:

### Irina Bochkova イリーナ・ボチコヴァ



モスクワ州管弦楽団協会のソリストであり、多くの国際コンクールの審査員を務めている。ロシア、ドイツ、フランス、日本やアメリカなど、多くの都市でマスタークラスを受け持つ。その教えを受けた者の中には、M. Durand, R. Zamuruyev, S. Teplova, A. Tchebotaryova, G. Murzha, A. Trostiansky などの著名なヴァイオリニストたちがいる。

### Ara Bogdanian アラ・ボグダニャン



多くのコンクールに審査員として参加している。また、アメリカ、韓国やその他の国々においてマスタークラスを受け持っている。その教えを受けた卒業生には A. Sarkisyan, A. Rapsimé, Otsu Ruto, Y. Medyanik, Kan Mi Son などの国際コンクール受賞者がいる。

### Eduard Grach エドゥアルド・グラッチ



ヴァイオリニストや室内オーケストラ「モスコヴィア」の指揮者として、ロシアと海外で活発な演奏活動を行っている。ニールセンコンクール(デンマーク 2004 年)、シオン・ヴァレー(スイス 2002~2005 年)、ヴロンスキコンクール(ワルシャワ 2002・2004 年)、ヴィエニャフスキコンクール(2001・2006 年)、ジェノバでのパガニーニコンクール(イタリア 2001 年)、クロスター・シャンタルでのコンクール(ドイツ 1997・1999・2001・2005)、若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール(中国 2003 年、日本 2004 年)、ハノーバーでのヨアヒムコンクール(2006 年)、カネッティコンクール(2003~2006 年)など、多くの国際コンクールで審査員を務める。

### Alexander Kirov アレクサンドル・キーロフ



ロシア、ウクライナ、スペイン、イタリアやフランスでマスタークラスを受け持っている。

### Alexander Trostiansky アレクサンドル・トロスチャンスキー



多くの国際コンクールの受賞者であり、プレミオ・パガニーニにて第6位(ジェノバ 1990 年)、セントレド・オーフォードにて第3位(カナダ 1996 年)、F. シューベルトと 20 世紀の音楽にて第3位(オーストリア 1997 年)、チャイコフスキー国際コンクールにて第5位(モスクワ 1998 年)を取得。世界各国で演奏活動を行い、フランス、イギリス、カザフスタン、韓国でマスタークラスを受け持っている。

## Marine Yashvili マリーネ・ヤシュヴィリ



その指導の下、数多くの教え子たち (E. Gabeli, S. Krasnikov, A. Shevlyakova, M. Shestakov, E. Shulkov, E. Tsai, A. Drago, Ni Do Fiong, A. Lundin, N. Kovalevskaya など) を国際コンクールの受賞者まで育てる。また、様々な交響楽団のリーダー、室内楽奏者、教師なども輩出している。

### ヴァイオリン:

#### Alexander Bobrovskiy アレクサンドル・ボプロフスキー

ロシア、スペイン、エストニアでリサイタルやコンサートを行う。



また、マスタークラスを受け持っている。その指導を受けた卒業生たちはロシアや国外でオーケストラ指導者や、カルテットやアンサンブルでの演奏で活躍する演奏家となり、成果を発揮している。

### チェロ:

#### Alexey Seleznev アレクセイ・セレズニョフ



その指導により、国際コンクールの受賞者を 100 名以上輩出する。国際チャリティー協会「ニュー・ネームズ」におけるチェリスト・アンサンブルの芸術監督。また、「DVD で学ぶチェロ演奏のための正しい過程」の作者である。

## Natalia Shakhovskaya ナターリア・シャホフスカヤ



第 13 回チャイコフスキー国際コンクール (2007 年) のチェロ部門の審査員長を務める。プラハ・スプリングコンクール、パリでのロストロポーヴィチコンクール、ドイツでの ARD コンクール、プレトリアでのコンクール (南アフリカ共和国) などの審査員も務める。その教えを請うた学生の中には A. Zagorinsky, K. Rodin, A. Seleznev など、国際コンクールとロシア全国の数々のコンクールにおいて優秀な成績を収めた 50 人以上の受賞者がいる。

## Maria Tchaykovskaya マリア・チャイコフスカヤ



これまでの指導により、E. Vysotsky, O. Kogan, D. Vistel (ドイツ), M. Laas (エストニア), K. Opper (フランス), Lim Dong Kuk (韓国) をはじめとした 80 人以上の国際コンクールの受賞者を輩出。また、マスタークラスを受け持ち、プロフェッショナルなレベルの演奏を、海外の様々な国へ提供している。国際コンクールの審査員なども務める。

### 声楽:

#### Petr Glubokiy ピョートル・グルボーキー



オペラ公演のためのガリーナ・ヴィシネフスカヤ・センターの教授。第6回グリンカコンクールの受賞者であり、フランスのトゥルーズにて行われた国際声楽コンクールにてグランプリ賞を取得した。

## Yuri Grigoriev ユーリー・グリゴリエフ



その指導により、ロシアのボリショイ劇場に I. Morozov, E. Morozova, N. Kazansky, N. Semenov, ノヴァヤ・オペラに O. Miroshnikova, ヨーロッパ・オペラ・カンパニーに Y. Batukov, A. Kravetz, E. Bolotova などの演奏家を輩出している。また、その多くが国際的な声楽コンクールの受賞者である。

## Pyotr Skusnichenko ピョートル・スクスニチェンコ



タシケントでのグリンカコンクールにて第2位 (1977 年)、モスクワでのチャイコフスキーコンクールにて第4位 (1978 年) を取得するなど、数々の国際コンクールでの受賞し、活躍している。

### 作曲:

#### Vladislav Agafonnikov ヴラディ斯拉フ・アガフォンニコフ



9つのオペラ、2つのバレエ、交響曲と室内楽、合唱作品などを作曲している。その教え子には S. Andrusenko, G. Pechenkin, D. Dianov, S. Fomina, M. Khorkova, U. Stratonskaya, U. R. Ramires, A. Kogut などが名を連ねる。若い作曲家たちのための多くのコンクールにおいて審査員を務める。

## Yuri Kasparov ユーリー・カスパロフ



モスクワ現代音楽アンサンブルのリーダーを務める。国際作曲家コンクール「グイード・ダレッツォ」にて第1位 (イタリア 1989 年)、アンリ・デュティユーにてグランプリ (フランス 1996 年)、ペスカール音楽院名誉賞 (イタリア 1999 年) の受賞者である。その作品は、国内外を問わず多くの著名な団体やソリストによって、現代音楽のフェスティバルにおいて演奏されている。

## Vladimir Tarnopolski ヴラディミール・タルノポルスキー



ニュー・ミュージック・アンサンブルのためのスタジオと、モスクワ国際フェスティバル「モスクワ・フォーラム」の音楽監督を務める。ドミートリイ・ショスタコーヴィチ (ロシア 1991 年)、パウル・ヘンデミット (ドイツ 1991 年) ロストルム (ユネスコ フランス 2001 年) などで受賞。定期的にドイツ、スイス、オランダ、イギリス、アメリカ、オーストリア、スウェーデンで講義を行っている。その作品はヨーロッパやアメリカの現代音楽国際フェスティバルにて数多く演奏されている。

### 音楽学:

#### Marina Karaseva マリーナ・カラショーヴァ



新しいソルフェージュ法を体系化し、20 世紀の音楽様式を基礎付けた。刊行物の中に「現代の聴覚訓練」(モスクワ 1996 年)、専攻論文の中に「ソルフェージュ ―聴覚訓練の精神技術―」(モスクワ 1999 年) などがある。また、「アート・セルフモデリング」と名付けられた、音楽家のための訓練コースを作り、ロシア、ヨーロッパ、日本の多くの都市で聴覚訓練と芸術的創造性促進のためのセミナーやマスタークラスの指揮を取っている。

## モスクワ音楽院マスタークラス日程表（予定）

### 【旅程表】

日時	曜日	月日	スケジュール	宿泊地
1	月	8月5日	午前: 成田国際空港集合、東京発 午後: モスクワ到着 専用バスにてホテルへ直行	モスクワ(泊)ホテルに宿泊
2	火	8月6日	午前: ホテル発→モスクワ音楽院・マスタークラス受講 終了後、ホテルへ	モスクワ(泊)ホテルに宿泊
3	水	8月7日	午前: ホテル発→モスクワ音楽院・マスタークラス受講 終了後、ホテルへ	モスクワ(泊)ホテルに宿泊
4	木	8月8日	午前: ホテル発→モスクワ音楽院・マスタークラス受講 終了後、ホテルへ	モスクワ(泊)ホテルに宿泊
5	金	8月9日	午前: ホテル発→モスクワ音楽院・マスタークラス受講 モスクワ音楽院マスタークラス修了証書授与 終了後、ホテルへ	モスクワ(泊)ホテルに宿泊
6	土	8月10日	午前: 自由 午後: 専用バスにて空港へ空路、帰国の途へ	機中泊
7	日	8月11日	午前: 成田国際空港到着 入国手続きを済ませ解散 ※帰国してから数ヶ月後、参加者の方々からの提案により、モスクワ音楽院マスタークラス修了記念ジョイントコンサートを行います。	

帰国後も演奏会や留学に必要な情報交換会、留学セミナーを開催し、海外留学活動支援を行っています

詳しくは・・・ 東京国際芸術協会まで

**東京国際芸術協会は音楽家を応援しています**

# 2019年 ロシア国立モスクワ音楽院マスタークラス 参加申込書

※必ず要項の内容をよく確認した上でご記入ください。申込用紙に不備・記入漏れがある場合、申込手続きができない場合がございます。

申込日 年 月 日

氏名	フリガナ 姓	フリガナ 名	助成対象コンクール・オーディション 開催年月: 20 年 月		
	ローマ字 (LAST NAME)	(FRIST NAME)	コンクール・オーディション名		
パスポート記載名 (ローマ字)	(LAST NAME)	(FRIST NAME)			
生年月日	西暦 年 月 日	年齢	歳	性別	男・女
保護者氏名	フリガナ	専攻楽器			
	<small>※18歳以下の方は保護者の同意が必要です</small>	部屋希望		1人部屋・2人部屋 <small>※1人部屋は追加料金が発生いたします</small>	
住所 (書類送付用)	フリガナ				
	〒	都道 府県	区市 郡		
電話番号	( )	携帯電話	( )		
FAX	( )	e-mail(必須)			
パスポート情報	<番号>	<有効期限>	年 月 日	国籍	
緊急連絡先	<氏名>		<続柄>		
	〒	TEL			
レッスン曲目 ①	邦題<作曲者名>	<邦題>	<演奏時間>		
	原語<作曲者名>	<作曲者の年代>	<原題>		
レッスン曲目 ②	邦題<作曲者名>	<邦題>	<演奏時間>		
	原語<作曲者名>	<作曲者の年代>	<原題>		
学歴・賞歴					
現在までに 師事した先生	<漢字>				
	<ローマ字>				
航空券手配	<input type="checkbox"/> 航空券手配を希望 (成田発・関空発・セントレア発・その他) <input type="checkbox"/> 航空券手配は不要 <input type="checkbox"/> その他手配を希望 ※延泊・周遊等アレンジが必要な場合はご希望の詳細をご記入ください。				
署名	上記の内容で申込をします		署名	日付	印

※レッスン曲の原語は作曲家(フルネーム)、作曲者の年代、曲名の順番で記入してください

例) Ludwig van Beethoven (1770-1827) aus Klaviersonate Nr.30 op109

1,Vivace ma non Troppo

2,Prestissimo

3,Gesangsvoll, mit inniger Empfehlung ,Andante cantabile ed espressivo

※手配に必要なため、この申込用紙と一緒にパスポートの顔写真ページのコピーをご提出ください(渡航者全員分)。

申請中の方は出来上がり次第、ファックスまたは郵送にてお送りください。

Internet Download

©TIAA